

**コンクリート有効応力計
GK-□N-202
仕様書**

**株式会社東横エルメス
東亞エルメス株式会社**

2010.01.05

1. 概要

本器は、トンネルの吹付けコンクリート内などに埋設して応力を測定するときに使用します。

2. 特長

本器は、測定するコンクリートを内部に充填し、検出器の一部として機能させることにより、見掛けの弾性係数をコンクリートのそれと常に一致させるようにしたものです。

そのことから、以下のような特徴があります。

- (1) クリープや乾燥収縮の影響がほとんどありません。
- (2) 温度影響をほとんど受けません。

3. 仕様

型式	GK-6N-202	GK-10N-202	GK-20N-202	GK-30N-202	GK-36N-202	GK-40N-202
測定範囲	6 N/mm ²	10 N/mm ²	20 N/mm ²	30 N/mm ²	36 N/mm ²	40 N/mm ²
定格出力(RO)	0.3 mV/V以上	0.5 mV/V以上	1.0 mV/V以上	1.0 mV/V以上	1.2 mV/V以上	1.4 mV/V以上
定格出力ひずみ (×10 ⁻⁶ st以上)	600	1000	2000	2000	2400	2800
直線性	±1.0 %RO以内					
ヒステリシス	±1.0 %RO以内					
許容過負荷	120%					
許容温度範囲	-10～+80 °C					
許容耐水圧	0.5 MPa					
最大印加電圧	10 V					
入・出力抵抗	350±2%					
絶縁抵抗	DC25Vにて500MΩ以上					
寸法	20 [□] ×L200(フランジΦ40)					
質量	約0.5kg					
ケーブル	S4-5(0.5mm ² 4心、シングルシース)					
ケーブル標準長	1 m					

・コンクリート有効応力計の寸法には各種ありますが、その選定の基準は測定対象コンクリートの粗骨材平均粒径の2倍以上が目安となります。

例: 平均粒径が10mmの場合は、GK-□N-202となります。

・極性は、+;圧縮、-;引張です。

・直線性とヒステリシスの数値は、変換部本体のものです。

4. 外観図

